

第 27 回新潟県障害者スポーツ大会 陸上競技 競技規則

ここに定める以外は、当該年度の全国障害者スポーツ大会競技規則を適用する。その他、特に必要な場合は申し合わせ事項を設けることができる。

1. 原則として、同一の障害区分、年齢区分、性別で競技を行うが、参加人数によってはこの限りではない。
2. 全種目、風力は計測しない。
3. スラロームは、1 人ずつのタイムレースとする。
4. 1500m 走は、競技開始から 10 分 00 秒を超えた時点でただちに競技を中止とする。
5. 日本陸上競技連盟競技規則に記載されている、シューズの靴底の厚さに関する規定は、ガイドランナーを含み本大会では適用しない。

第 27 回新潟県障害者スポーツ大会 水泳 競技規則

ここに定める以外は、当該年度の全国障害者スポーツ大会競技規則を適用する。その他、特に必要な場合は申し合わせ事項を設けることができる。

1. 原則として、同一の障害区分、年齢区分、性別で競技を行うが、参加人数によってはこの限りではない。
2. 出発合図から 30 秒経ってもスタートしない場合は失格とする。
3. 世界水泳連盟公認の水着を着用することが望ましいが、速力、浮力または耐久力を助けるものを着用してはならない。

第 27 回新潟県障害者スポーツ大会 アーチェリー 競技規則

ここに定める以外は、当該年度の全国障害者スポーツ大会競技規則を適用する。その他、特に必要な場合は申し合わせ事項を設けることができる。

第 27 回新潟県障害者スポーツ大会 卓球 競技規則

ここに定める以外は、当該年度の全国障害者スポーツ大会競技規則を適用する。その他、特に必要な場合は申し合わせ事項を設けることができる。

1. 原則として、同一の障害区分、年齢区分、性別で競技を行うが、参加人数によってはこの限りではない。
2. タイムアウト制は設けない。
3. 促進ルールは適用しない。
4. 原則として、(公財)日本卓球協会公認のユニフォームを着用することが望ましいが、障害や財政等を理由に着用できない場合はこの限りではない。ただし、服装の色は、白や限りなく白に近いものを着用してはならない。

第 27 回新潟県障害者スポーツ大会 フライングディスク 競技規則

ここに定める以外は、当該年度の全国障害者スポーツ大会競技規則を適用する。その他、特に必要な場合は申し合わせ事項を設けることができる。

第 27 回新潟県障害者スポーツ大会 ボッチャ 競技規則

ここに定める以外は、当該年度の全国障害者スポーツ大会競技規則を適用する。その他、特に必要な場合は申し合わせ事項を設けることができる。

1. 試合形式は、1 対 1 の個人戦を 4 エンドとし、対戦は原則として立位と座位に分けて行う。
2. 投球の持ち時間は設けないが、できる限り速やかに投球すること。
3. ペナルティボールは取り扱わない。

第 27 回新潟県障害者スポーツ大会 ボウリング 競技規則

ここに定める以外は、当該年度の全国障害者スポーツ大会競技規則を適用する。その他、特に必要な場合は申し合わせ事項を設けることができる。